



西尾市立鶴城中学校

鶴中四大文化を軸として地域から学び、地域で活躍する生徒の育成

本校には、「あいさつ」「歌声」「リサイクル」「ボランティア」の鶴中四大文化がある。生徒たちは、代々この文化の継承と発展に努めている。生徒が主体となった学校文化づくりが定着し、生徒たちはさらなる発展に向けて気持ちが高まっている。そのような生徒たちの活動の場を地域へも広げ、地域から学び、地域で活躍する鶴中生の育成を目指す。

鶴中四大文化の継承・発展

1 生徒会・委員会主催の各種校内活動の充実を図る。

- ・生徒会執行部による「ステージ開放」、「あいさつ運動」、「クラス対抗リサイクル」「鶴城クリーン大作戦」の実施。
- ・学習委員会による、「挨拶・授業態度・挙手」を重点的に改善する「C I P (Class Improved Project)」の実施。
- ・体育委員会によるレクリエーション（クラス対抗大玉転がし大会など）の実施。
- ・美化委員会による真剣に集中して掃除に取り組むための呼びかけ「T S 清掃」の実施。
- ・安全委員会による交通マナー向上のための活動。
- ・歌声が響く学校に向けて、歌うことを楽しむ活動の充実。



<体育委員会によるレクリエーション>

2 校外に視野を広げた活動を実施する。

- ・校外にも挨拶の輪を広げるあいさつ運動。
- ・紙パック、アルミ缶、エコキャップ回収活動の実施。
- ・ベルマーク回収活動の実施。



<あいさつ運動>

地域から学び、地域で活動する機会の充実

1 地域から学ぶ。地域で学ぶ。

- ・ 1年 達人に出会う会

さまざまな職業や社会の仕組みを見つめ、自分の将来についての考えを深めることを目的に、県内の施設、事業所等での体験活動（1日）を実施する。

- ・ 2年 職場体験

「働くことの意義・尊さ・喜び」を感じ取ること、社会における人との関わり方を学ぶこと、進路選択に生かすことを目的に、市内外の120を超える事業所の協力を得て3日間実施する。

- ・ 3年 考えようこれからの西尾

自分たちが住む西尾について、生活経験の中からクラスごとに課題を設定し、よりよい西尾市になるように追究活動および意見交流を行う。これらの活動を通して、よりよい社会の実現を目ざし、課題を主体的に解決しようとする態度を育成する。

- ・ 特別支援学級 西尾の抹茶

地元への愛着を育むために、西尾の抹茶を使ったお茶会を開催する。また、物を販売、購入する力を培うために、地域の店舗に買い物に行く活動や、抹茶スイーツをつくり販売する活動を行う。



<2年 職場体験>

2 活動の場を地域に広げる。

- ・ 演奏交流会、定期演奏会での演奏発表。（吹奏楽部）
- ・ 地域の行事への参加。（茶道部・コーラス部）
- ・ 西尾市立図書館等での読み聞かせ活動、校区小学校の運動会のボランティア、地域の行事への参加。

（ボランティア部）



<読み聞かせ活動（ボランティア部）>

保護者、地域の方が生徒の活動にふれる場の充実

- ・ 「学校へ行こう（保護者の学校見学）」「制服リサイクルバザー」等を実施する。
- ・ PTA実行委員、学校評議員、民生児童委員等に来校いただく機会を設け、学校の様子を知っていただく。
- ・ 体育大会や鶴中文化の創造などの学校行事を保護者や地域の代表の方に公開する。
- ・ 鶴中ブログ等を活用し、生徒の活動の様子を保護者や地域の方に伝える。



<体育大会（応援の部）>